

MULTI SPRAY

電池 噴霧機

マルチスプレー

MD-700A

園芸専用

この度は、ゴールデンスター／マルチスプレーをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は運転操作および保守上の重要な項目について説明したものです。ご使用前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただくとともに、お使いになる方がいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。



— 安心・安全・日本製 —

目次

安全にお使いいただくために	2	2-3. 電池を入れる	12
各部の名称と仕様	6	2-4. 噴霧開始	13
噴霧機の取扱い	8	2-5. 噴霧作業後は	15
1. 組立方法	8	お手入れ方法と保管方法	16
1-1. ホースを本体に取付ける	8	1. お手入れ	16
1-2. ノズルスタンドを本体に取付ける	8	1-1. タンクとポンプの清掃のしかた	16
1-3. ショルダーバンドを本体に取付ける	8	1-2. ノズルの清掃のしかた	17
1-4. ノズルパイプをグリップに取付ける	9	1-3. ストレーナーの清掃のしかた	17
1-5. タンクを本体に取付ける	9	2. 保管について	17
1-6. 作業前の点検をする	9	トラブルシューティング	18
2. 噴霧の手順	10	1. こんなときは	19
2-1. 薬剤(薬液)を準備する	10	1-1. ポンプ内が乾燥した時は	19
2-2. ノズルパイプの調節をする	11		

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

⚠ 警告

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する恐れがある内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

⚠ 注意

軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生する恐れがある内容です。充分にご注意ください。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



必ず守る

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



注意

この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

取扱説明書について

- この取扱説明書は本機を操作するときは、必ず身近な所に置いてください。
 - 本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒に取扱説明書もお渡しください。
 - 紛失や損傷したときは、お買い上げいただいた販売店に連絡してください。
-

安全にお使いいただくために

⚠ 危険



よく読む

使用前に取扱説明書をよく読む

- 噴霧機を使用する場合は、取扱の方法、作業の仕方等を習得してから慎重に噴霧作業をしてください。



禁止

可燃性の薬剤(ガソリン・ベンジン・シンナー等)は絶対に使用しない

- 爆発、火災が発生します。



必ず守る

薬剤(薬液)を使用する場合は、必ず薬剤の取扱説明書に従う

- 人体に有害な為、必ず指定濃度を守って使用してください。
- 薬剤(薬液)が身体にかかった場合は、薬剤の取扱説明書の指示に従い、適切な処置を施してください。
- タンク内に残った使用済みの薬剤(薬液)は、誤使用を防止する為に薬剤の取扱説明書の指示に従い、適切に処分してください。

⚠ 警告



点検・確認

使用前に各部の点検・調整及び組立方法を確認する

- 各接続部の締めつけ、ホース・タンク等の破損の有無を点検してください。
- 上ケースとタンクの接続を必ず確認してください。不十分な接続は、薬剤(薬液)の漏れや、薬剤(薬液)が人体にかかる等の事故の原因になります。



禁止

家庭園芸目的以外に使用しない

- 本機は家庭園芸用の薬剤散布専用機です。

MS型は感電の恐れがありますので、次のことはしない

- 本機に薬剤(薬液)・水を掛ないでください。
- 雨の中での作業は行わないでください。
- 本体を雨の中に放置したり、水洗いをしないでください。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。

子供や操作方法が理解出来ない方は使用しない

- 本機の操作方法をご存知ない方、または理解できない方には操作させないでください。
- 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめください。

こんなときには使用しない

- 疲れている場合は使用しないでください。もし本機使用中に疲れた場合は、作業を中断し、休憩してください。

安全にお使いいただくために

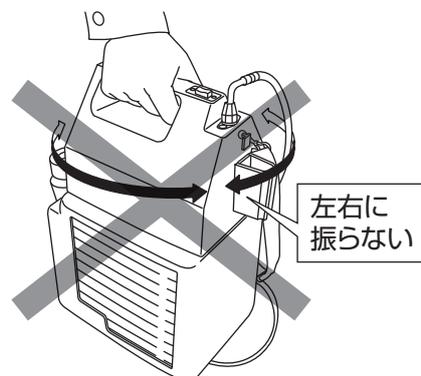
⚠ 警告



禁止

薬剤（薬液）が入った状態で本体を左右回転方向に振らない

- 薬剤が入っている状態で左右回転方向に振ると、タンクが本体から外れる恐れがあります。



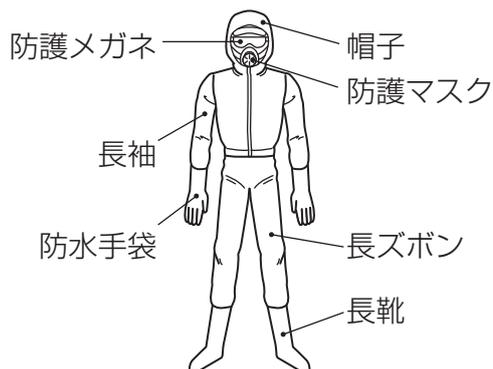
必ず守る

薬剤（薬液）の取扱いに充分注意する

- 薬剤（薬液）を人体や動物にかけたり、子供に触らせないようにしてください。
- 隣接する住宅地や川や池等に飛散・汚染しないようにノズルや風向きに充分注意してください。

作業に適した服装で作業する

- 作業は身体に薬剤（薬液）の付着を防ぐために、帽子・防護メガネ・防護マスク・長袖・長ズボン・ゴム手袋・ゴム長靴を必ず着用して行ってください。



作業後は…

- 全身に付着した薬剤（薬液）を必ず洗い流して、うがいを行い、衣服を着替えてください。

⚠ 注意



禁止

家庭園芸用薬剤以外は絶対に使用しない

- 防疫用・畜産用薬品、ハエ・蚊等を駆除する殺虫剤は使用しないでください。

故障の原因になるので次のことはしない

- タンクに薬剤（薬液）や水がない状態で、1分以上の空運転をしないでください。ポンプが故障する原因となります。
- タンクに薬剤（薬液）や水がある状態で本体を倒さないでください。薬剤（薬液）や水が漏れ、故障の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意



禁止

ポンプに薬剤(薬液)や水を掛けない

- MD 型では電池の端子がさび、故障の原因になります。



必ず守る

薬剤(薬液)の希釈は薬剤の取扱説明書の指示に従う

- 薬剤(薬液)が完全に溶けていなかったり、濃度が濃かったりすると、本機の故障の原因となるばかりか、果樹・作物等を傷める恐れがあります。

本機を落としたり、ぶついたり、強い衝撃を与えない

- 本体などに破損、亀裂、変形があるとケガや故障の原因となります。

本機の分解や改造をしない

- 機械の手入れに必要な部品は、安全確保のために純正部品をご使用ください。
- 本機に異常を感じた時は直ちに作業を中止し、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 取扱説明書の記載以外の分解修理及び改造は行わないでください。故障する恐れがあります。

使用後や収納保管時の注意点

- 使用後はタンク内の薬剤(薬液)を適切に処分した後、きれいな水で噴射し、ポンプ・ノズル内にある薬剤(薬液)を洗い流してください。薬剤(薬液)が残っていると固着して故障の原因になります。
- 保管する場合は適切な手入れをし、直射日光が当たらず、お子様の手が届かない、鍵がかかる所に保管してください。

次の場合必ず本体スイッチを OFF にする

- MS 型の場合、電源プラグを交流 100V コンセントに接続する時。
- MD 型の場合、乾電池を組込む時。

各部の名称と仕様

薬剤の取扱いについて

■ 使用できる薬剤

硫黄水和剤、オーソサイド水和剤、マンネプダイセン M 水和剤、ベントートレ水和剤、ダイセン水和剤、ダコニール水和剤、オルトラン水和剤・乳剤、マシーン油乳剤、スミチオン乳剤、アカール乳剤等

■ 使用できない薬剤

① 家庭園芸用以外の薬剤

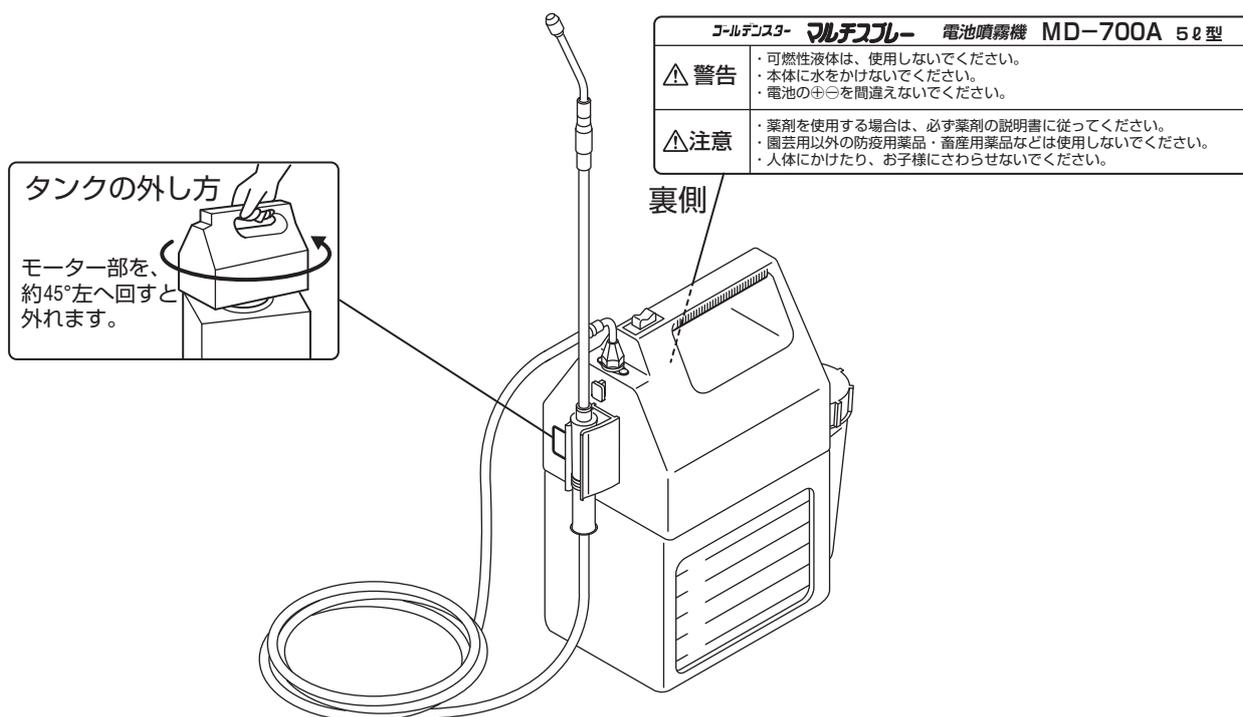
- 可燃性の薬剤 …………… ガソリン・ベンジン・シンナー等
- 畜産用 …………… オルソー、ヨード等
- 防疫用 …………… ホルマリン、クレドール等
- 殺虫剤 …………… ハエ、蚊等を駆除する薬剤
- 使用が禁止されている薬剤 …………… ケルセン水和剤等
- 油性薬剤

② 本機は液体薬剤散布用ですので、粉剤、粒剤系の薬剤は直接使用できません。

* 粉剤を使用する場合は、水で十分に粉剤が残らないように溶かし、こし網等でこしてから使用してください。

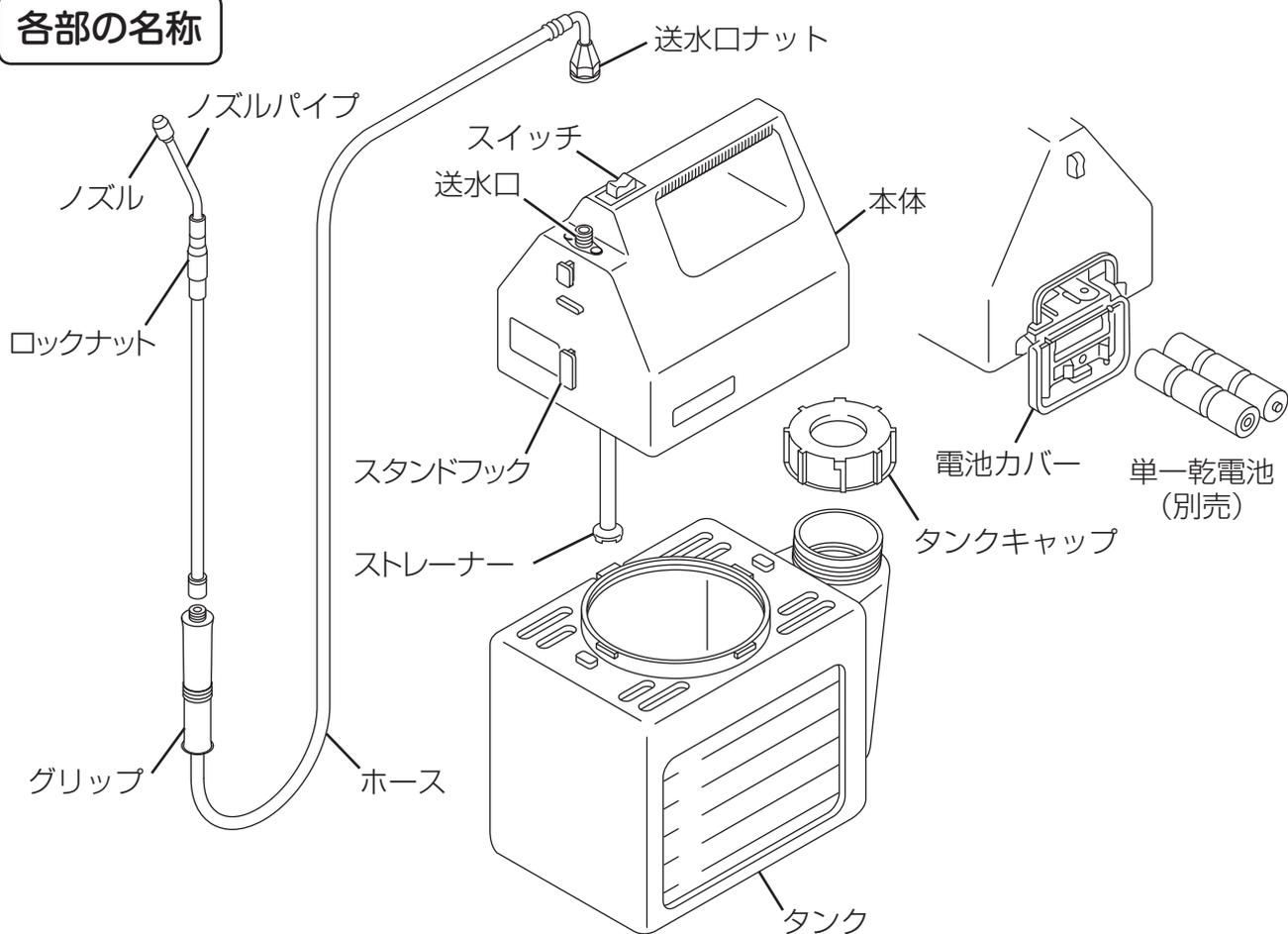
警告・注意ラベルの貼付位置

安全に使用していただくために、本機には警告・注意ラベルが貼ってありますので、よく読んでからご使用ください。なお、ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。



各部の名称と仕様

各部の名称



付属部品



仕様

型 式	MD-700A		外形寸法	約310×160×360mm	
電 源	単一乾電池 6個 (別売)		ホース全長	約1.5m	
能 力	噴霧	約230ml/分	ノズル部	形状	一頭口
	噴射	約400ml/分		全長	約52～104cm
タンク容量	約5ℓ		重 量	約1.8kg	

※本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

噴霧機の取扱い

1. 組立方法

⚠ 警告

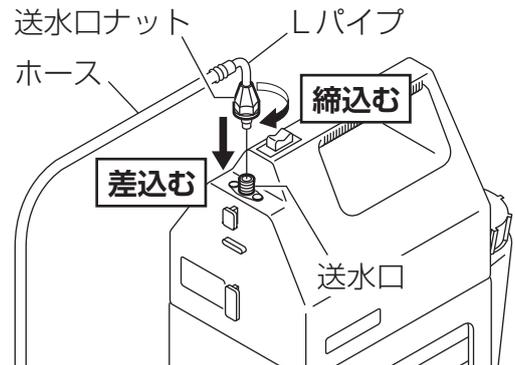


必ず守る

- 組立が不完全な場合、薬剤（薬液）の漏れや、薬剤（薬液）が人体にかかる等の事故の原因になります。しっかりと組立ててください。

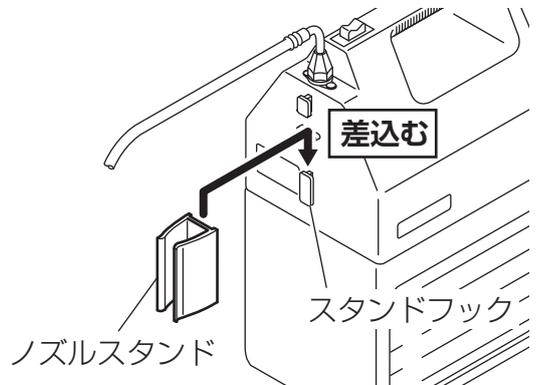
1-1. ホースを本体に取付ける

本体の送水口にLパイプを差し込み、送水口ナットでしっかりと締付けます。



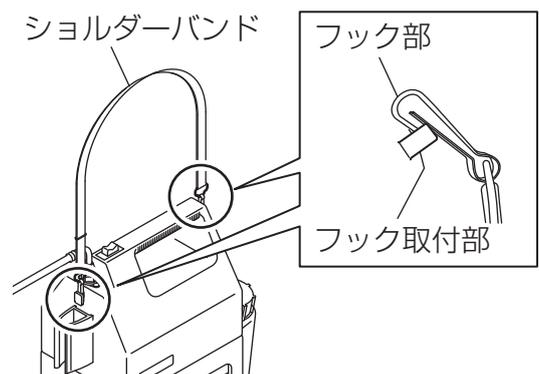
1-2. ノズルスタンドを本体に取付ける

本体のスタンドフックにノズルスタンドの溝部を差し込みます。



1-3. ショルダーバンドを本体に取付ける

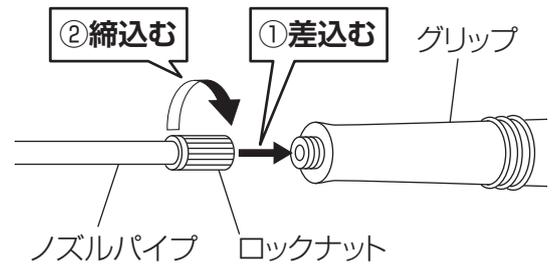
ショルダーバンドのフック部を本体のフック取付部に取付けます。



噴霧機の取扱い

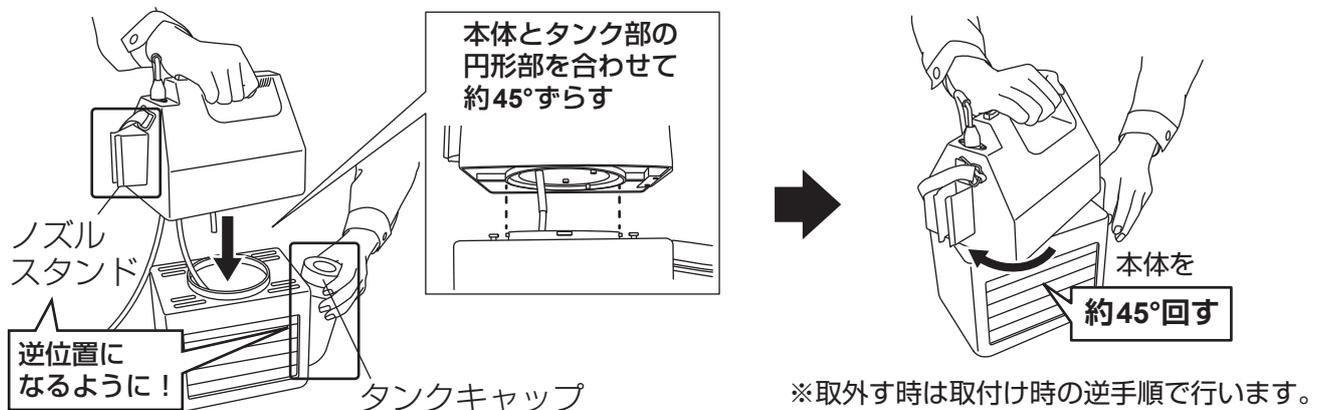
1-4. ノズルパイプをグリップに取付ける

グリップにノズルパイプを差込み、ロックナットをしっかりと締付けます。



1-5. タンクを本体に取付ける

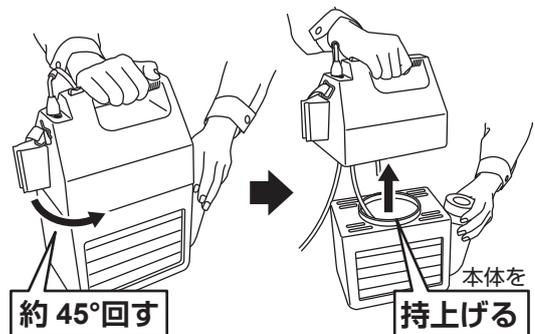
タンクキャップと本体のノズルスタンドが逆位置になるように、本体とタンクの円形部を合わせ、図の角度(約45°ずらした位置)で本体を回し取付けます。



ポイント

• タンクの外し方

タンクが動かないように固定し、本体を(タンクに対して)約45度回した後持ち上げ、タンクから取外します。



1-6. 作業前の点検をする

⚠ 警告



必ず守る

- 使用前に本機調整箇所及び組立方法を確認してください。異常があれば直ちに修理してください。
- 各部ナット等の緩みや各 부품の損傷の有無、また正常に作動するかを十分に点検してください。

ホース・ノズルスタンド等本機の組立てを適切に行っているかを確認してください。

噴霧機の取扱い

2. 噴霧の手順

⚠ 危険



必ず守る

- 薬剤（薬液）が目や皮膚等にかかった場合は、薬剤の取扱説明書に従い、適切な処置を行ってください。
- 可燃性の薬剤（ガソリン・ベンジン・シンナー等）は絶対に使用しないでください。

⚠ 注意



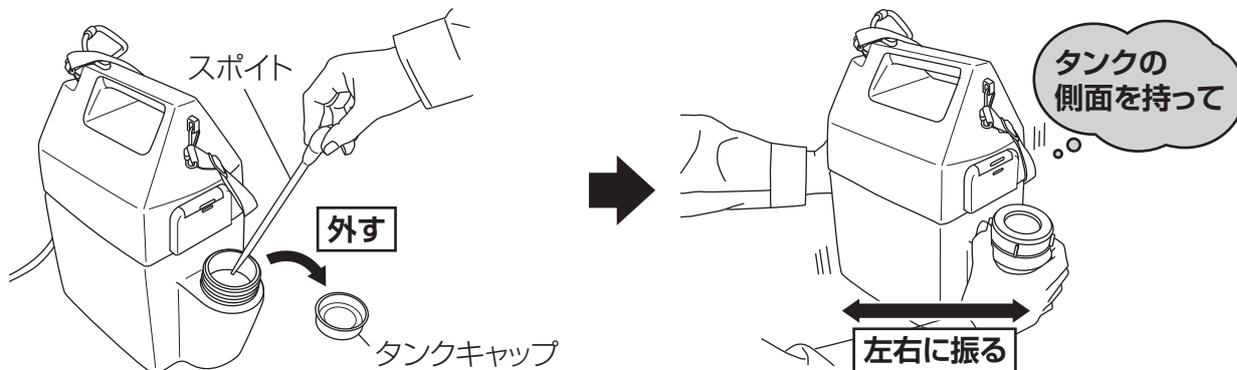
必ず守る

- 粉剤は水にしっかりと溶かしてください。溶かし方が不十分ですとポンプやノズルに詰まり故障の恐れがあります。
- 園芸用以外の薬剤は故障の原因となりますので使用しないでください。

2-1. 薬剤（薬液）を準備する

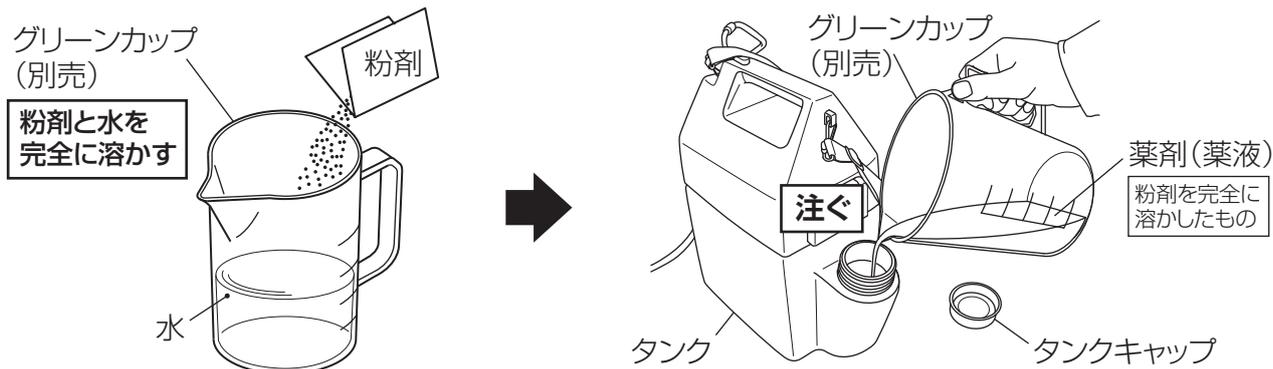
液剤の場合

タンクキャップを取外し、液剤をスポイトで注入した後、希望する希釈になるように適量の水を入れます。次にタンクキャップを確実に締付け、**必ずタンクの側面を持って**左右に振り、よくかきまぜます。



粉剤の場合

グリーンカップ（別売）などの別の容器に粉剤と水を入れ、完全に溶けるまで念入りにかきまぜます。次にタンクキャップを取外し、薬剤（薬液）をタンクに注入します。



ポイント

● グリーンカップ

No.6031



園芸用の薬剤等を作るのに便利な計量カップ。

容量：1リットル 計量スプーン付

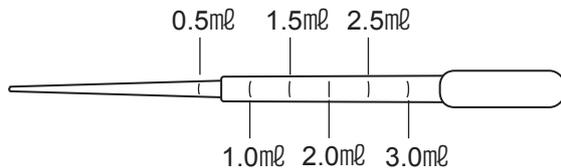


※ご用命の際は本機をご購入の販売店、
又は貼付の QR コードをお使いください。

● 薬剤の薄め方 (希釈)

薬剤は右表を参考に薄めてください。

スポイトの目盛り



水量	薬剤		
	500 倍液	1000 倍液	2000 倍液
1 ℓ	2ml	1ml	0.5ml
2 ℓ	4ml	2ml	1.0ml
3 ℓ	6ml	3ml	1.5ml
4 ℓ	8ml	4ml	2.0ml
5 ℓ	10ml	5ml	2.5ml

2-2. ノズルパイプの調節をする

⚠ 注意

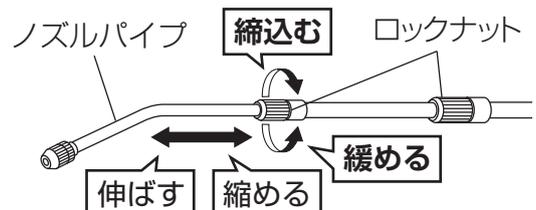


必ず守る

- ノズルパイプを伸縮する時はノズルの先端を身体などに向けないでください。ホース内の薬剤 (薬液) が、ノズル先端より飛び出すことがあります。

ロックナットを緩めて、長さを調節します。

調節後はロックナットをしっかりと締付け、ノズルパイプを固定します。



噴霧機の取扱い

2-3. 電池を入れる

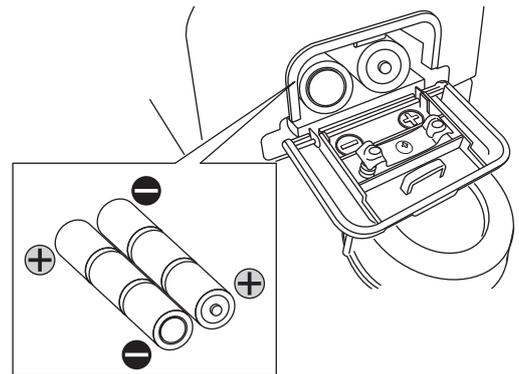
⚠ 注意



必ず守る

- 電池を組込む場合は必ず本体のスイッチを『OFF』にしてください。噴口から薬剤（薬液）が飛び出す恐れがあります。
- 組込む電池は新・旧、異種を混用しないでください。本来の性能を発揮できません。

電池は単一乾電池6個を用意し、電池カバーを開け、⊕・⊖のマークに合わせ入れた後、しっかりと電池カバーを閉じてください。



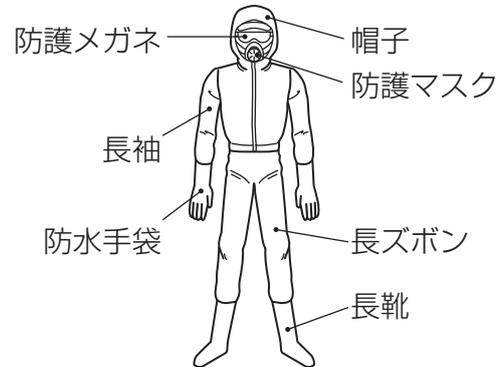
2-4. 噴霧開始

⚠ 警告

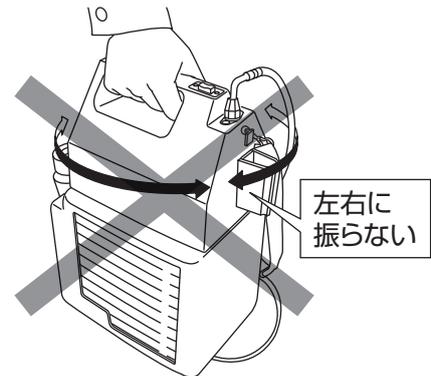


必ず守る

- 作業中は事故防止の為、取扱説明書の警告の項及び本機の危険、警告ラベルの指示に従ってください。
- 作業は身体に薬剤(薬液)の付着を防ぐために、帽子・防護メガネ・防護マスク・長袖・長ズボン・ゴム手袋・ゴム長靴を必ず着用して行ってください。



- 薬剤が入っている状態で左右回転方向に振ると、タンクが本体から外れる恐れがあります。



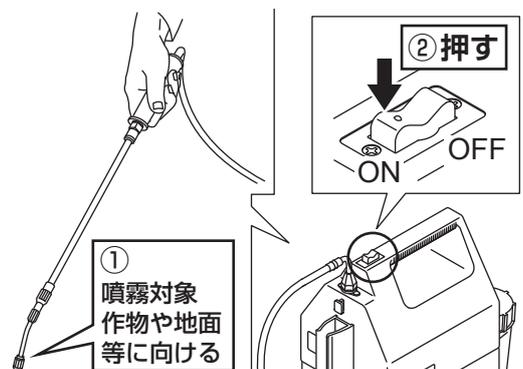
⚠ 注意



必ず守る

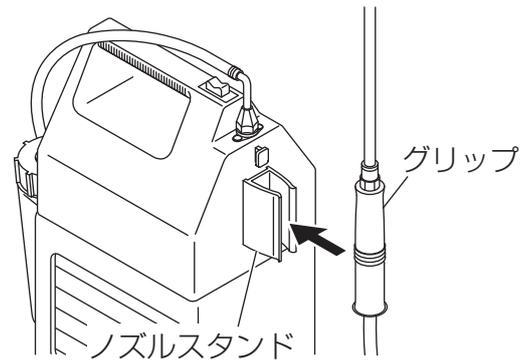
- 本体の電源スイッチを入れる時は、ノズルの先端が人や動物などに向いていないことを確認してください。

電池が電池ボックスに入っていることを確認して、グリップを手で持ち、ノズルの先端を噴霧対象作物や地面等に向け、本体のスイッチを「ON」にします。



噴霧機の取扱い

使用中に運転を止める時はスイッチを「OFF」にし、ノズル先端が必ずタンク液面より上になるようにグリップをノズルスタンドにはめ込んでください。



ポイント

● 農作業用メガネ

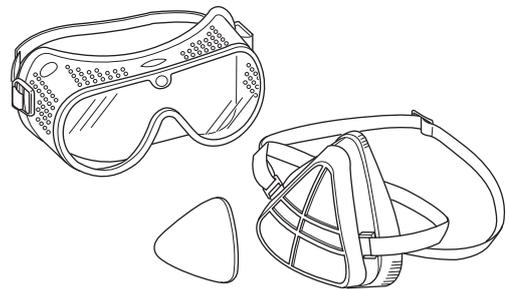
ハード：No.6150 / ソフト：No.6155

作業時の安全確保に。



● 農作業用マスク

マスク：No.6180 / フィルター：No.6185



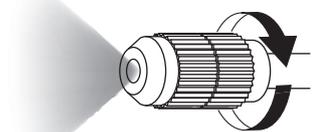
※ご用命の際は本機をご購入の販売店、又は貼付のQRコードをお使いください。

● 噴霧・噴射の切替えのしかた

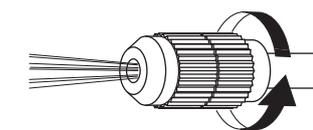
ノズルカバーを回すと、噴霧・噴射の切替えが行えます。

ノズルカバーを緩めすぎる（噴射側）と、ノズルカバーが外れてしまうので、ご注意ください。

噴霧



噴射



● 散布を行うコツは…

- 病・害虫の種類にあった薬剤を選び、正しい濃度で散布します。
- 日中や西日が強い高温時は避け、風のない朝夕の涼しい時間に散布します。
- 病状が進んでからの散布は大変な手間がかかるので、病気や害虫の発生初期に散布します。
- 散布は植物全体にムラなく行い、また害虫が隠れている葉の裏側にも散布します。

種類の異なる薬剤を続けて使用される場合は、薬剤の化学変化を防ぐため、タンクやノズルなどをきれいな水で洗ってから行ってください。

2-5. 噴霧作業後は

⚠ 注意



必ず守る

- 全身に付着した薬剤（薬液）を必ず洗い流して、うがいを行い、衣服を着替えてください。
- 薬剤（薬液）やゴミが残ると故障の原因となりますので、ご使用の度に必ずお手入れをしてください。
- お手入れ後は電池を抜き、子供の手の届かない、直射日光が当たらない、鍵がかかる所に保管してください。

いつも最良の状態に保つために、ご使用後はタンク・ポンプ・ノズルなどをきれいな水で洗い、直射日光が当たらない所に保管してください。

お手入れ方法と保管方法

1. お手入れ

1-1. タンクとポンプの清掃のしかた

⚠ 危険



必ず守る

- タンク内に残った使用済みの薬剤（薬液）は、誤使用を防止する為に薬剤の取扱説明書の指示に従い適切に処分してください。

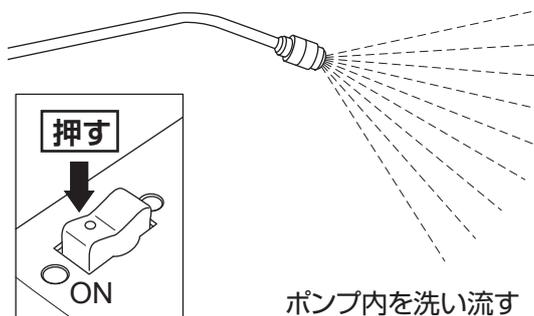
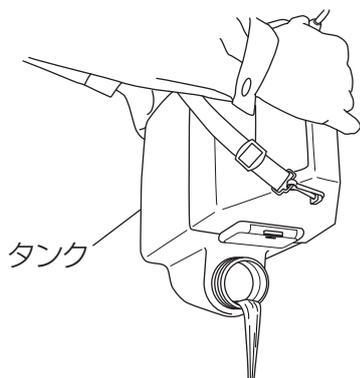
⚠ 注意



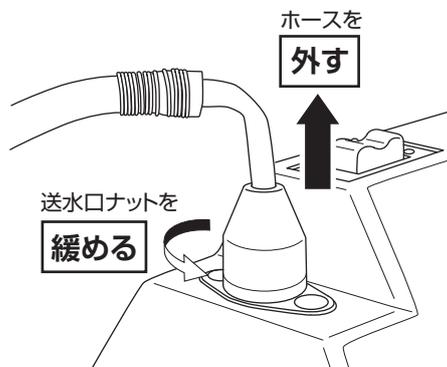
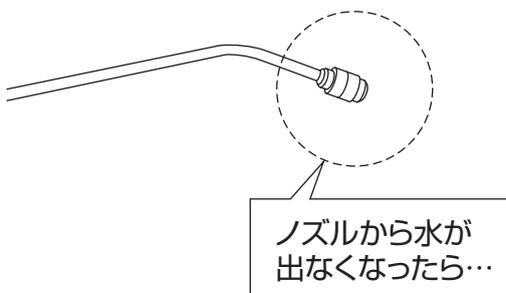
必ず守る

- 空運転は1分以上しないでください。

- ① タンク内の残った薬剤（薬液）に適切な処置を施し、タンクをきれいな水で洗います。次にポンプ内を洗うためにタンクにきれいな水を入れて、スイッチを「ON」にし、水を噴射させます。



- ② 水洗後は水が出なくなるまで運転し、ホースを取外して中の残液を抜きます。

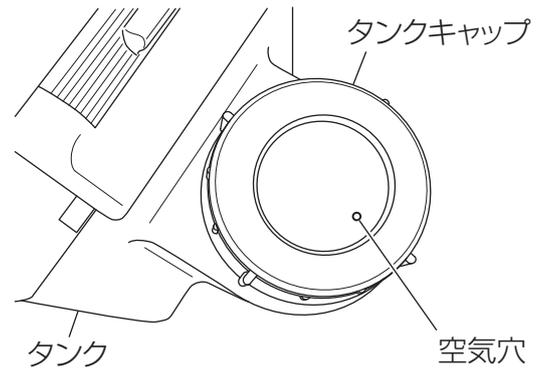


お手入れ方法と保管方法

- ③ タンクキャップの空気穴を先のとがったもの（つまようじなど）で掃除します。

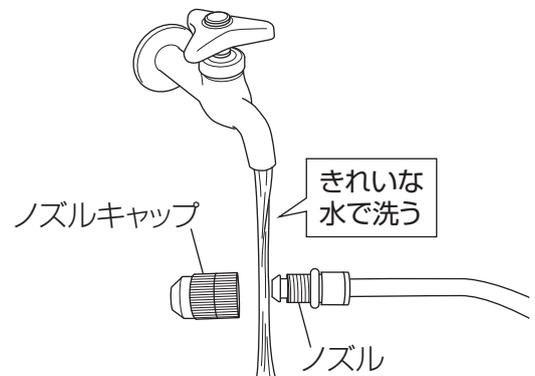
ポイント

空気穴が詰まると噴射できません。



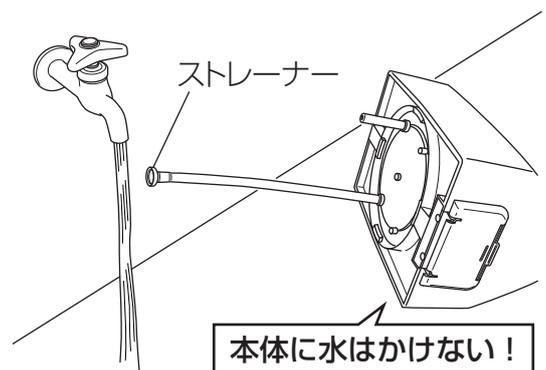
1-2. ノズルの清掃のしかた

ノズルカバーをノズルから取外し、きれいな水で洗います。



1-3. ストレーナーの清掃のしかた

本体に水をかけないように洗います。



2. 保管について

直射日光が当たらず、お子様の手の届かない所に保管してください。

トラブルシューティング

本機に異常があれば、下表より原因を探り適切な対策を施してください。

状 況	点検箇所	処 置
作動しない	電池残量がない。	電池を新品と交換する。
	電池の⊕・⊖が間違っている。	正しい向きで組込む。 (P.12参照)
	スイッチが「ON」になっていない。	スイッチを「ON」にする。
噴射しないまたは 噴射が弱い	ポンプが固着している。	修理に出す。
	ポンプ内が乾燥している。	ストレーナー側のホースから スポイトで呼び水をする。 (P.19参照)
	ノズルが目詰まりしている。	ノズルを洗浄する。(P.17参照)
	ストレーナーが目詰まりして いる。	ストレーナーを洗浄する。 (P.17参照)
	タンクキャップの空気穴が 詰まっている。	空気穴を清掃する。(P.17参照)
ノズルパイプから 水漏れをする	ロックナットがゆるんでいる。	ロックナットを確実に締付ける。 (P.9参照)

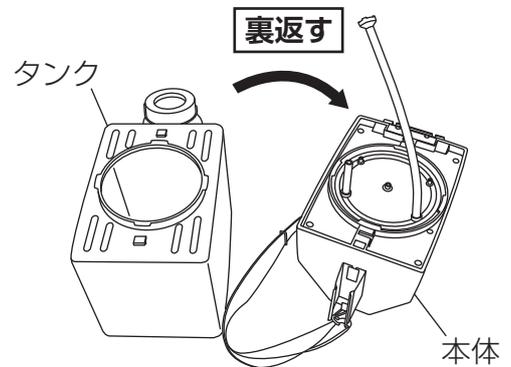
※簡単なトラブルシューティングしか記載しておりません。わからない点や異常がある時は
むやみに分解せずただちに使用を中止し、お買い上げ頂いた販売店またはサービス店へお
申し付けください。

トラブルシューティング

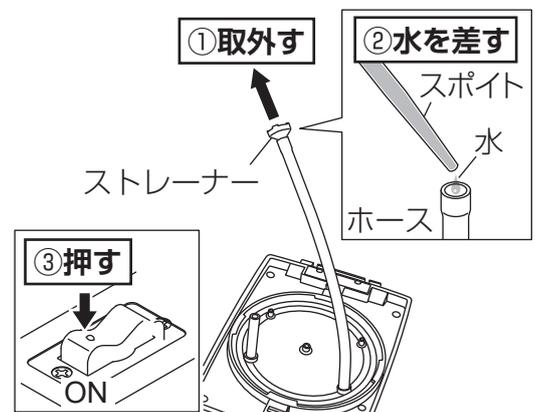
1. こんなときは

1-1. ポンプ内が乾燥した時は…

① タンクを外し、本体を裏返します。



② ストレーナーを外し、ホースの穴に少量の水を入れ、本体を裏返した状態でスイッチを「ON」にします。次にスイッチを「OFF」にし、ストレーナーを付け、タンクと本体を取付けて、通常通りに使用し水が出るまで繰り返してください。





製造番号

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を末長くご愛用いただきますようよろしくお願いいたします。

本 社

兵庫県小野市本町10番地 〒675-1372
TEL (0794) 62-2391代 FAX (0794) 63-5211

東京支店

東京都中央区日本橋小伝馬町8番3号 〒103-0001
TEL (03) 3664-8811代 FAX (03) 3664-8860

九州支店

佐賀県鳥栖市養父町473番地2 〒841-0005
TEL (0942) 85-9277 FAX (0942) 84-2700

新潟・三条出張所

新潟県三条市神明町2番1号 〒955-0063
TEL (0256) 32-9971 FAX (0256) 32-9671

KINBOSHI

Corporation

園芸機器総合メーカー

キンボシ 株式会社

2062Bi-1503